

平成31年4月7日執行

川崎市川崎区選挙区(定数3人)

神奈川県議会議員選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



『安全・安心』な街づくり!!

- ◎治安(防犯カメラの設置、振り込め詐欺対策の強化)、防災(耐震・免震工事の促進、石油コンビナートをかかる川崎の防災強化)に取り組みます。

『経済のエンジン』フル回転!!

- ◎毎日の暮らしの中で景気回復を実感出来るように、中小企業・小規模事業者を応援します。
- ◎2020東京オリンピック・パラリンピック開催にむけ、神奈川・川崎の魅力を発信します。

社会保障の充実!!

- ◎がん検診受診率の向上、早期発見、最先端医療(重粒子線等)により『がん撲滅』を目指します。
- ◎子どもたちの未来と、高齢者や身体の不自由な方の安心を約束する神奈川を目指します。

杉山のぶお
プロフィール

go-kawasaki 検索

- 慶應義塾大学商学部卒業
- 神奈川県議5期 保護司
- 川崎PTA協議会元会長
- 自民党県議団 元団長
- 防災警察常任委員会
- 現:環境農政常任委員会



杉山のぶお

川崎を最先端の未来都市に —西村は約束します。

国会・県会・市会のネットワークで、皆さまの暮らしを守る政治を実現してまいります。

- 国際都市・川崎へ 地の利を生かし活性化
- 2020年に羽田空港とキングスカイフロントを直結する橋設置を推進します。
- 遺伝子情報から治療薬を導く、最新「がんゲノム治療」の実施を推進します。
- 工場夜景など、川崎が持つ魅力を発信。観光客の受け入れを促進します。

安心の暮らしと安全な街づくり

- 県内の駅ホームドア設置を推進し、駅を安全化。
- 国会・県会・市会が連携し、幼児教育(幼稚園・保育園)と私立高校授業料の無償化を推進。
- 公立学校の窓ガラスの飛散防止、備蓄品の配置を推進。震災に備え、避難所機能を強化。
- 豪雨や津波による河川の反乱を防ぐため、堤防の補強や、水位計等を整備。
- 防犯カメラを増やし、犯罪を抑制。安心・安全な暮らしのできる神奈川に。

■県立がんセンターに手術ロボット「ダビンチ」を導入。
■聴覚・視覚に障害のある人のために、盲ろう者支援センター開設が決定。■「ドナー支援事業」を提案し、実現。

山口 なつお	太組 一朗	副神奈川マリアンナ医療センター長	三田 幸司	会長	神奈川県運営協会会長	竹原 秀行	藤木 幸夫	神奈川県港湾協会会長
公明党代表	公明党代表	公明党代表	公明党代表	公明党代表	公明党代表	公明党代表	公明党代表	公明党代表

【プロフィール】1962年生まれ(56歳)。大阪府出身。同志社大学卒業後、川崎市へ。司会やイベントプランナーとして活躍。松あきら参院議員の秘書を経て、2011年、神奈川県議会に初当選。防災士、認知症サポーター養成講師、骨髓バンクドナー登録説明員。心のバリアフリー推進員。



西村くにこ

56歳・現
公明党公認

税金のムダ全廃!

時代の変化をとらえた予算配分を求めます!

●医療・介護など高齢者福祉の充実

働く意欲のあるご高齢者がこれまでの経験や技術を活かした職につける仕組みづくりを進めます!また、まだ足りない老人福祉施設の整備や改修に対する県の支援制度充実と、介護報酬アップなど介護職員の待遇改善を求めます!

●学校の施設開放で

子どもたちが集まる場所づくり

昨今は、子どもたちがスポーツや遊びに集まる場所が限られています。県立校のグラウンドや設備を開放して地域での活用を進めるとともに、教職員の負担軽減につなげます!

●治安対策の充実

川崎区は県内でも突出して高い犯罪認知件数を記録している現状です。子どもたちの未来のためにも治安対策は喫緊の課題。警察関係の予算を確保して、繁華街における防犯カメラ設置を充実させます。そして川崎からヘイトスピーチ廃絶の取組みを進めます!

- 動物愛護の精神を尊重してペットにも優しい社会づくりを進めます!
- 高校、大学進学への奨学金制度をもっと充実!
- 脱原発の実現と、神奈川県内へのカジノ誘致反対!
- 立憲民主党は「今の社会経済状況での消費増税見送り」と「年金制度の改善」を求めています!

略歴 ■聖クララ幼稚園▶新町小学校▶渡田中学校▶新城高校
▶成蹊大学文学部卒業 ■高校大学時代はラグビー部
■前神奈川県議会議員 ■41歳



立憲民主党
県会候補

さかい学 まなぶ

県政に医療・ 福祉の心を



私は、民間の病院で看護師として45年間働いてきました。「病気になった時、お金のあるなしで命に差別があってはならない」—これが私の看護師としての原点です。暮らし・福祉・医療を守り支える県政を実現するためにがんばります。

- 平和な神奈川をめざす
- 最低賃金は時給1500円に
- 介護職員の待遇改善
- 中小企業予算増額、
- 特別養護老人ホームの増設
- 均等割なくす
- 高い国保料の引き下げ、
- 保育士の待遇改善
- 正規の教員を増やす
- 小中学生で少人数学級実現と
- 県の医療費助成を中学卒業まで実施
- 中学校給食の設備費などへ
- 県の医療費助成を中学卒業まで実施

医療現場で45年

元川崎市議、党川崎区県政医療・福祉対策委員長
略歴/1951年7月生まれ。京浜高等看護学校卒業。川崎四ッ角病院、川崎協同病院などに勤務。1999年から川崎市議会議員1期。川崎医療生協労働組合執行委員を歴任。

安倍政治ストップ
消費税10%への増税中止を
憲法9条「改憲」ノー

岩田サヨ子 いわたさよこ

日本共産党